



第3章

モ一セ



紀元前1706年

ききんが起こった頃、アブラハムの孫にあたるヤコブは、彼の12人の息子とその家族や召し使いと共に、エジプトへ移り住んだ。その地で、彼らは地のちりのごとく子孫を増やしていった。

やがて、イスラエルと呼ばれるヤコブの子孫達は、エジプト人の数より増していった。

エジプトの支配者であるファラオは、ヤコブの子孫達に、辛いレンガ作りの労働を強いた。そこでの300年以上もの年月は、神がアブラハムを通してその父達と結んだ約束を、彼らから忘れさせてしまった。

神はかつてアブラハムにこう語られていた。彼の子孫は見知らぬ国へ移り行き、その地で奴隷となる、と。しかし、400年のち、神はその国を裁き、神の民を救い出して約束の地へと導かれる、と。

本当なのよ！ファラオは、私達の民族の赤ちゃんを殺しているの。私達が増えすぎたからって。男性陣達は重労働を課せられているから、強くたくましくなっているし、王は私達を恐れているのよ。

やめてー！私の赤ちゃんよ！あなたにそんなことをする権利はないわ！

彼らに私の赤ちゃんは殺させないわ。神様がこの子をお守り下さるはずよ。

でもさ、ファラオの権力を前にして、神様にいったい何が出来るって言うの？

ファラオは、ユダヤ人の増加を恐れ、生まれたばかりの男の赤ちゃんを殺すことにしたのだった。

でも、お母さん、もし兵士や近所の人たちに、赤ん坊はどうしたのかと聞かれたら何と答えればいいの？

ただ真実を言えればいいのよ。赤ちゃんは、兵士が来る前に母親が川に投げ入れたってね。

紀元前 約1525年

お母さん、浸水しない？

タールを塗ってあるから、ちゃんと浮くわよ。

かわいい弟にまた会えるかな？ ああ...なんてひどいことになったの！

神様が守ってください。目を離さずに見守っていてちょうだい。

捨てられたヘブル人の赤ちゃんに違いありませんわ。

まあ！かわいらしいこと！

ファラオの娘が水浴びをしに川にやって来た。

ねえちょっと聞いて！あのかごから泣き声が聞こえるわ！

きっとお腹が空いているのね。

誰か乳母になってくれる者はいないかしら...私がこの子の面倒をみましょう。

あそこにヘブル人の子供がいます。彼女なら、誰かこの子にお乳を飲ませてあげられる人を、知っているかも知れません。

私が探してまいります。川に赤ちゃんを捨てられてしまった女性がおりますので、彼女なら十分にお乳を飲ませてあげられると思います。



私は何  
というこ  
とをしたんでしょ  
う…坊やに会  
いたい! 神様、ど  
うか…。

ファラオのお嬢さんが川で弟を  
拾ってくれたの。お嬢さんは、  
自分の子供として面倒をみたい  
んだって! それに、彼女は乳母  
をさがしてらっしゃるわ。もう  
すぐ、ここに来られるの!

こうするしか  
なかったのだから仕方がないわ。  
この先ずっと坊やを  
隠しておくことは  
できなかったのだし。  
遅かれ早かれ、兵士  
に見つかって殺され  
てしまっていたわ。  
神様を信頼し続け  
なければダメよ。

お母  
さん! お母  
さん!

永遠なる神様、  
あなたの御名が  
ほめたたえられ  
ますように!



あなたの子  
供はいなくなっ  
てしまったと聞  
きました。お悔  
やみ申します。  
私はこの子を  
川で拾いました。  
この子の乳母に  
なっていただけ  
ないかしら?

もちろんただで  
は言いません。こ  
の子が乳離れし  
たら、エジプト  
の次期、ファラ  
オとして、宮殿  
に連れて行きます。  
私達はこの子を  
モーセと名付け  
ることにします。

モーセを育てながら、母親は息子に  
真実真実の神について伝え  
教えた。神は、この幼子に特別  
なご計画を持っておられた。



お乗りく  
ださい、小  
さな王子よ。  
宮殿にまい  
りますよ。

ねえ、この  
馬さんたちは、  
どれくらい早く  
走れるの?

モーセを育てて  
くれてありがとう。  
とても健康そう  
だわ。この子は  
立派に成長し、  
権力と富を持つ  
ようになるで  
しょう。



ファラオの娘の養子として、モーセはエジプトにおいて立派な男に成長した。彼には富と権力が約束されていたが、同時に彼は、自身のルーツを忘れてはいなかった。

モーセ、よく聞いてくれ、我々の先祖であるアブラハム、イサク、ヤコブの神は、かつてアブラハムにこう仰せられたんだ。彼の子孫は増え広がり、見知らぬ土地で寄留者となる、ってね。それは我々のことなんだよ！

そうさ！神様はこうもおっしゃった。我々は400年もの間、苦しめられるとね。我々が根付いてから359年経った。ということは、預言の成就まであと41年だ。

スケールの大きい話だね。ファラオは奴隷を逃がしたりしないんじゃないかな。富を持って、だなんて考えられないよ。でも、何か方法はあるかもしれない。だけど、どうしてあと41年も辛抱して待たなければならぬんだい？

その上、神様は、アブラハムにこう伝えたんだ。我々に悪を働いた国を裁かれる、とね。我々は多くの富を受けてこの地を離れる。神様がかつて我々の父祖達に約束してくださった土地へ、帰還することができる、と。

ヘブル人として生まれた者達は、支配者のもとで多くの苦しみを受けた。粘土やレンガ作りの、過酷な作業を強いられた。モーセは、彼らの苦しむ姿を見るのが耐えられなかった。そして彼は行動を起こした。

むちで殺されちゃう前に、立つんだ！

立て！汚いプタやろう！

頑張って立つんだ。



ある日、モーセは、自分の同胞を、激しく痛めつけているエジプト人を目にした。

救い出す時が来たのかもしれない。止めなくては。



バシッ!

いいかげんにしろ!

モーセは、そのエジプト人を殺し、地に埋めた。しかしその光景を見ていた者がいて、ファラオに密告した。



ああ、神よ!私は何んという事を!

止まれ!殺人の罪で裁きを受ける!

あれはモーセよ!



紀元前 約1491年

モーセはエジプトを去り、荒野へ逃げた。友人や家族からも離れ、ひとりぼっちになってしまった。自分の同胞を助け出すことができなかつただけでなく、自分自身を救うことさえ、できないままに。

モーセは何日も歩き続けた。これ以上もう前に進めない、というところまで来た時、彼は羊飼いの宿営場にたどり着いた。

見て！  
男の人が  
いる！

今にも死に  
そうだわ。  
早く水を！

エジプト人  
みたいね。

モーセは、ミディアン人との生活の中に、新しい人生を見いだした。荒野で生きるすべを習得し、結婚もして、羊飼いとなった。40年もの月日が流れ、エジプトでの日々は、はるか遠い記憶となっていた。彼は、もう二度と自分の同胞達に会うことはないだろう、と思っていた。

奇妙だな。柴が燃えだした。しかも燃え尽きることなく、ずっと燃え続けている。

モーセ、あなたのくつを脱ぎなさい。あなたの立っている場所は、聖なる地である。わたしは、あなたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。

わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを確かに見、追い使う者の前の彼らの叫びを聞いた。

今こそ、彼らを救い出し、わたしが約束した土地に彼らを導くのだ。



しかし、私が神の  
使いなどと誰が信  
じましょう？笑わ  
れるのがおちです。



あなたの  
杖を地に  
投げよ。



な、なん  
と！杖が！



凶暴  
な蛇に  
なったぞ！



手を伸ばし  
て、その尾  
をつかめ。



杖に戻っ  
たぞ。



さあエジプトへ向か  
いなさい。わたしが  
あなたの口とともに  
あって、あなたの言  
うべきことを教え、  
あなたの成すべきこ  
とを教えよう。また、  
あなたの兄、アロン  
があなたの手助けを  
してくれるであろう。



紀元前1445年

もう40年も経ったんだ。私の過去を知る者は、すでに死んでいるよ。誰も私を覚えていないだろう。

ファラオが人々を解放するまでだ。

エジプトへ戻られるのですか！あなたを殺そうと探し回っている人間がいたら、どうなさるんですか？

どの位、かかりますの？

すべての長老達を集めよ！救いの時が来た！

彼らは何者だ？

あれはレビ族のアロンだ。もうひとり是我々と同じような顔立ちだが、奴隷ではなさそうだな。

ここに  
いるモーセは、  
今から80年ほど前、  
男の赤ちゃんに対する大量虐殺の時代に生まれた。  
彼の母親は彼を隠し、  
かごの中に入れて川へ流したのだが、神のご介入によって、  
ファラオの娘が彼を拾い、  
彼をエジプト人として育て上げたのだ。

イスラエルの長老たちよ、集まれ。

そして40年ほど前、モーセは、  
エジプト人として生きるよりも、  
苦しみ同胞達とともに苦境を共にすることを望んだ。  
そして彼は、自分の力で人々を救おうとしたのだが、  
そのことを達成することはできなかったのだ。  
その後40年ほど、  
彼は、神が我々の父祖達に約束された土地に面した荒野に住んでいたのだが、  
そんなモーセのもとに神ご自身が現れ、  
我々をファラオのもとから救い出すよう、  
語られたのだ！  
ファラオを説き伏せるための手腕を、  
モーセに今、  
披露してもらおうではないか。



アブラハムの神が、燃え上がる柴の中から私にお語りになり、あなた方を我々の父祖の土地へと連れ帰るように、仰せられました。さあ、これが、神様が告げられたという、証です。



ひい〜っ、杖が蛇に!

恐れなくてもよい。



見ていなさい。



神様は救い主を送ってくださった!

ファラオは驚くぞ!

奇跡だ!

さあ、ファラオのもとへ参ろうではないか!

アブラハムの神よ!



40年前と少しも変わっていない。私が言う通りに話してくれるね？



イスラエルの神がモーセにお語りになりました。イスラエルの民が、神への祈りとささげものをすることができるように、3日間の荒野への旅を彼らに許可してください。

なに！イスラエルの神だと？はっはっはっ、お前たちの神なんて知るか！そんな神の言うことに私が従うとでも？全くバカげている。3日間の荒野への外出だなんて、私が奴隷達に許すはずがなからう。

お前達の言葉を聞いた私の奴隷達が、最近仕事をすっぽかしているそうじゃないか。私の知らぬ神に礼拝するために、3日間の休暇をくれだなんて。彼らには更なる仕事を課してやろう。

今後、レンガ作りに必要なわらの収集も、奴隷達にやらせる！さっさと消えうせる！二度と戻ってくるな！

あつかましいにもほどがある!

お前たちが成しえた事といえば、我々に二重の重荷を負わせたことではないか!これが我々を救出することなのか?それで神の使いと言えるのか?

何様のつもりだ?

偽救世主に違いない!

こっけいですな。まるで自分たちが神であるかのように、この宮殿に踏み込んで来ようとは。

まんまと引っかかってしまった!

わたしは主なる神、あなたの父祖の神である。わたしは、わたしの民の苦しみを目にし、彼らの嘆きを聞いた。

もっと働け!神へ祈りを捧げたいだと?怠けていると、どうなるか教えてやろう!

主なる神様、あなた様の御名によって語り始めてから、状況は悪化する一方です。なぜ私のような者をお遣わしになられたのですか?

わたしがアブラハムと結んだ契約を成す時が来た。わたしは彼らを約束の地、カナンへと導き出す。モーセ、あなたが彼らを導くのだ。

しかし、私には上手く説得できません。ファラオも耳を傾けることはないでしょう。

アロンがあなたの代わりに語る。あなたはわたしの言葉に耳を傾けよ。そしてそれをアロンに伝えるだけでよい。王はすぐには耳をかさないであろう。しかしわたしは、大いなる不思議を行う。エジプトは、わたしが唯一の真の神であることを知るようになる。

はははは、なんだってまた戻ってきたんだ?

これは、主なる神が語られた、というしるしです。

主なる神は、民を去らせよ、と仰せられている。

はっはっはっ!ただの手品ではないか!そんなもので私を脅そうとしても無駄だ!呪術師どもを呼べ!

慣れた手つきじゃないか。本物みたいだな。

どこで覚えてきたんだろ?



王の命令だ、  
直ちに来るように！  
杖を蛇に変える手  
品をせよ！



我らの蛇神、ネザト  
が、お前達に、もっと  
レンガを作れと言っ  
ているぞ。わっはっは！



モーセ、どうす  
ればいいのだ？これ  
ではまるで我々が愚  
か者のようだ。



見てみる！  
奴の蛇が戦い  
を挑んでいるぞ。



一匹、食わ  
れてしまっ  
た！



我々の蛇を  
まる飲みしや  
がった！

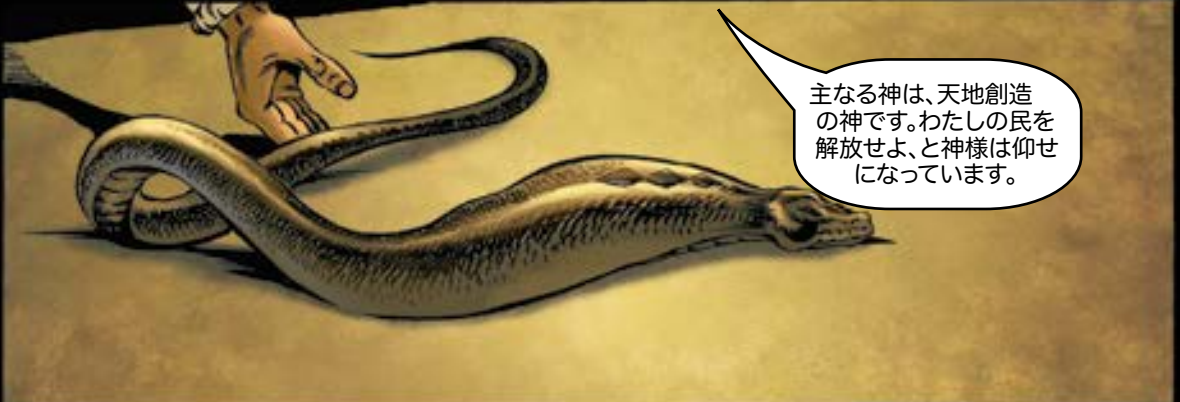


これ以上、食う  
と我々の蛇神、ネ  
ザート様がお怒り  
になられるぞ！




信じられ  
ん！全部、  
まる飲みし  
てしまっ  
た！


どうなっ  
てるんだ？



主なる神は、天地創造  
の神です。わたしの民を  
解放せよ、と神様は仰せ  
になっています。



どのような手を使ったか知らんが、こんな見世物のために奴隷達を解放せんぞ！とっとと消えうせろ！




主なる神様はなぜ、王の呪法師達に真似できるようなしるしを我々にさせたのだらう？一時は我々はまるで愚か者のように見えていたはずだ。

出エジプト記7:13  
『それでもファラオの心はかたくなになり、彼らの言うことを聞き入れなかった。主が言われたとおりであった。』

私にも分からない。でも、神様は、王の心をかたくなにする、と仰せられ、実際その通りになった。私の杖が、王の蛇達を飲み込んだ時の、王の怒り狂う様子を見ただらう？

主なる神と話さなければならぬ。次はどうすればよいのか、私には分からないのだから。

神はモーセに語りかけ、次に成すべきことを伝えられた。エジプト人達はモーセをあざ笑い、モーセの同胞達は彼を拒絶した。彼らの苦役は、王によって増すばかりであったからである。しかしモーセは、例えすべてを理解していなくとも、ただ神を信じた。



主なる神はこう仰せられました。『あなたはわたしの民を去らせなかった。よって、わたしは、わたしが真なる神であることを示すために、エジプトのすべての水を血に変える。』と。

見事だ。一体どうやって？

奇術師共を呼べ！  
ナイルの神が止めてくれよう。



見てみる、奇術師達には、いとも簡単なことよ!お前の手品などで私を説き伏せることなど不可能だ。



こんなのは今まで見たことがない。泉や小さな池まで血になってしまうなんて。奴の言う神はなんという名の神なんだ?

知るもんか。それがどうしたっていうんだ?我々には何千という数の神がいるじゃないか。ナイル川の神はきつとお怒りになっているよ。

唯一の神?なんだそりゃ。

モーセとかいう奴は、彼の信じる神は唯一の神

エジプトの水が血に変えられてから7日後、モーセは再び、神の裁きをエジプトにもたらした。



多くのカエルよ。はい上がってきなさい。

悪臭を放つ血の水の中から、何百万という数のカエルが、突然、大量発生した。





家中が  
カエルだ  
らけだ!

エジプト中がカエル  
で一杯だ! 神々  
がお怒りだ!

呪法師達は  
どこだ? なんとか  
ならんのか?

陛下、ご覧の通り、蛙を作る  
ことなど簡単なことです。

なぜ彼らは、さらにカエル  
を造って増やそうとするんだ?  
すでに、モーセの連れてきたカエル  
でいっぱいだというのに。もう十分  
じゃないか? それなのにファラオ  
は、もっと造らせる気だ。

ひいひいっ!

彼らの望み通り、  
荒野へ行かせては  
いかがですか? もう、カエル  
はこりごりです。

主なる神に頼んで、カエルを  
追い払ってくれ。そうしたら、  
奴隷達を荒野に行かせ、彼らの  
神に対して、いけにえの捧げ  
ものをさせてやろう。

モーセを呼  
べ! 彼と話が  
したい。

カエルに生き  
絶えてほしい時間を  
指示してください。  
その通りになる  
でしょう。

明日の  
朝だ!

はい、陛下。  
仰せの通りに  
いたします。

あなたのおっしゃると  
おりになるでしょう。主なる  
神の他に神々は存在しない、  
ということ、すべての人は知  
るようになるのです。



ファラオが指定した時間にカエルは死に絶えた。それを見た王は、再び心をかたくなにし、ヘブル人たちの解放を拒んだ。

エジプト中をカエルだらけにしてしまう主なる神とは、いったいどんな神なんだ？

神がやったと本気で思ってるのか？きっと単なる自然現象だよ。

ならば、モーセはどうやってこのカエルの大発生を言い当てたんだ？おまけに、死滅する時間まで知っていたんだぞ？

無駄口たたかないで、さっさとかき集めろ！じゃないと、いつまでたっても終わらんぞ！

そして、主なる神は、モーセに仰せられた。「アロンに言え。あなたの杖を差し伸ばして、地のちりを打て。そうすれば、それはエジプトの全土で、ブヨとなるう。」

すると、エジプト中の地面のちりからブヨが湧き出てきた。



いやあああああっ！



ブヨを作れないだと？国民が我々の神は無力だと思うではないか。いいか、奇術で対抗だ！

しかし、陛下、これこそ神の業です。モーセ達していることは、誰にも真似できません。私どもには、これ以上の力がないのです。

自然の力に決まっておる。しかし、もうブヨには耐えられん。モーセを呼べ。奴の神がブヨを追い払うことが出来たら、ヘブル人達が神に仕えることが出来るよう、彼らを解放する、と伝えよ。



ブヨはいなくなつた。しかし、奴隷達を自由にはさせんぞ。もう、奴らの神に出来ることはないだろう。



神はモーセに仰せられた。「エジプトに、アブの群れを放つ。あなたの家々も、アブの群れで満ちる。しかし、わたしは、エジプト人とヘブル人の間を区別する。」

わたしの民がとどまっている地には、アブの群れがないようにする。それは、わたしが、全世界において唯一の神であることを、あなたがたが知るためである。



父さん、なぜ僕らの呪法師たちは、あの人を止めることが出来ないの？

宗教に関してはよく分らん。私には関係ないことだ。



彼の言った通りでございます。ヘブル人のいる地域に、アブは一匹もいないのです。これこそ、神の業に違いありません。

モーセを探して連れてまいれ。



行って、神にいけにえを捧げるがよい。しかし、このエジプトの地から離れてはならぬ。

私達は少なくとも3日の道のりを行かなければなりません。


行ってよい。しかし、決して遠くへ行ってはならない。さあ、お前の神と話して、このいまましいアブを追い払ってくれ。



エジプトから、アブは一匹もいなくなりました。もはや、奇跡としか言いようがありません。

だまれ！まるで、あいつを信じているかのような口のききかただぞ。

再び、王は心をかたくし、神の民を解放することを拒んだ。




神は、エジプトに疫病を送られた。すべての家畜、すなわち、牛や羊、馬やらくだなどの動物達が、疫病に冒された。しかし、ヘブル人の動物達は、病に倒れることがなかった。

我々の家畜はすべて死に、お前達の家畜は皆ピンピンしている。これはいったいどういうことなんだ？

我々の呪法師たちは、我らの神々にいけにえを捧げて願いを乞っている。神聖なる雄牛様がお怒りになり、すべてを止めてくださるはずだ。

エジプトのひどい束縛から私達を解放すると、我らの父祖の神様がそう仰せられた、とモーセは言っています。でも、私はただの凡人に過ぎません。このような不思議についてはよく分かりません。



王に、もう遅すぎる、とお伝え下さい。我らの神聖なる雄牛様たちはすべて死に絶えました。我らの神々が、ヘブル人の見知らぬ神の手から我らを守ることが出来なかった、という事実を、我が国民が知ったら、皆怒りだすに違いありません。

エジプトの神々はどこに行ってしまったんだ？彼らには力がないというのか？

しかし、王はますます強情になるばかりであった。



再び神はモーセに語りかけ、エジプトに向かって、かまどのすすを撒くように命じた。それによって、エジプト人に、ウミの出る腫れ物ができた。

神様はおっしゃっている。我が民を解放しなければ、恐ろしい腫れ物が、人間はもちろん、家畜にまで襲いかかるであろう、と。

もう、やめてくれええ～！



呪法師たちを呼べ。彼らの力を集結し、神々にいけにえを捧げろ。なんとしてでも止めるんだ。

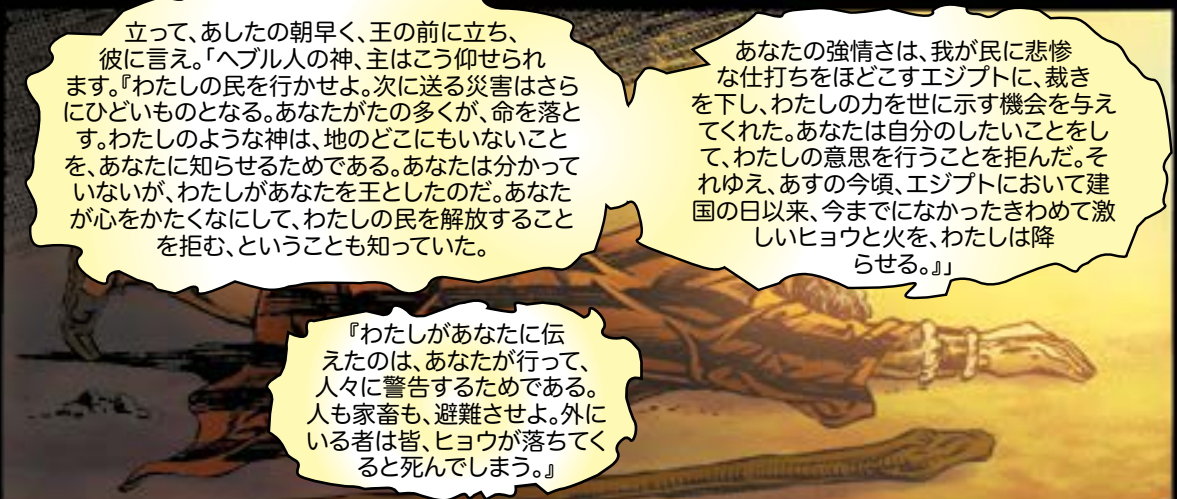


お呼びでございますか、陛下。

呪法師のお前にも腫れ物が？モーセの神に対抗する術はないのか？



消えろ！脳なしのペテン師めが！安っぽいトリックなんぞで人を騙しやがって。神々はどこにいるんだ！



立って、あしたの朝早く、王の前に立ち、彼に言え。「ヘブル人の神、主はこう仰せられます。『わたしの民を行かせよ。次に送る災害はさらにひどいものとなる。あなたがたの多くが、命を落とす。わたしのような神は、地のどこにもいないことを、あなたに知らせるためである。あなたは分かっていないが、わたしがあなたを王としたのだ。あなたが心をかたくなにして、わたしの民を解放することを拒む、ということも知っていた。』

あなたの強情さは、我が民に悲惨な仕打ちをほどこすエジプトに、裁きを下し、わたしの力を世に示す機会を与えてくれた。あなたは自分のしたいことをして、わたしの意思を行うことを拒んだ。それゆえ、あすの今頃、エジプトにおいて建国の日以来、今までになかったきわめて激しいヒョウと火を、わたしは降らせる。』

『わたしがあなたに伝えたのは、あなたが行って、人々に警告するためである。人も家畜も、避難させよ。外にいる者は皆、ヒョウが落ちてくと死んでしまう。』



主なる神の  
仰せられた  
通りになる  
ように。



警告に耳を貸さず、外に  
いた者はすべて死んだ。

なぜ、  
火とヒヨウが  
一緒に  
降ってくるんだ！

偉大なるセト  
神よ、お助け  
ください。

あああ〜。




お父さん、モーセと  
いう人は、どうして  
こんなことができる  
の？モーセの神様は、  
混沌と嵐の神セトよ  
りも強いの？

モーセは、神と呼  
べるのは、ただお一人だ  
けだと言っている。そし  
てヘブル人は神の子  
供だと。

だが、誰も彼の神を見たこ  
とがないんだ。ヘブル人でさえもな。  
その神は、モーセ曰く霊であり、我らの王  
に、ヘブル人を解放して荒野へ行かせ、  
彼らの神を礼拝させるよう、求めておられ  
るんだそうだ。



混沌と嵐の偉大な  
セト神よ。お願いござい  
ます、この恐ろしい嵐をしずめて  
ください。モーセの、見知らぬ神  
よりも、あなた様は偉大なお方  
であるはずで。




火とヒョウの嵐は、私たちに降らずエジプト人だけを襲っている。

お父さん、怖いよ！火とヒョウは僕らにも降ってくるの？

いいや、息子よ、主なる神は、神様に従わないエジプト人たちを罰しておられるんだよ。彼らの信じる嵐の神、セトは、無力なんだということ、神様は示しておられるんだ。


恐ろしいことだわ。



私はあなたの神に対して罪を犯した。主は正しいお方で、私と私の民は悪者だ。主に祈ってくれ。火とヒョウは、もうたくさんだ。私はおまえたちを行かせよう。

私が町を出たら、すぐに主に向かって手を伸べ広げましょう。そうすれば火とヒョウはやみます。この地が主のものであることをあなたが知るためです。しかし、あなたが、まだ、神である主を畏れていないことを、私は知っています。あなたは約束を守らないでしょう。

嵐がやんだのを見た王は、再びかたくなになり、罪を犯した。彼はヘブル人を行かせなかった。



神は、また別の災いを送られた。いなごの大群がやってきて、前回の嵐を乗り越えた緑の作物のすべてを食べつくした。そして、大群は家々にも襲ってきた。



植物の神、ゲブ神よ、  
ヘブル人の神が我々の作  
物にしたことをご覧に  
なられましたか？

オシリス様、今、  
この時に、あなたの  
力をお示し下さい。

王はモーセを呼び、民の解放を約束した。しかし、神がいなごの大群を取り去ると、とたんに王は心をかたくなにし、奴隷の解放を拒んだ。



そこで神は、エジプト全土に暗闇をもたらされた。3日の間、月のない、雲に覆われた夜以上に暗かった。しかし、ヘブル人の家の中には、暗闇はなかった。

私のところから出て行け。私の顔を二度と見ないように気をつけろ。おまえが私の顔を見たら、その日に、おまえは死ななければならない。

お前たちを殺しておくのだった！しかし、そうすれば我々の神々が無力だと示すことになる。

本音を言われましたな。もう、二度と会うことはないでしょう。



太陽神、ラーよ。聞こえておいでですか？この3日間、お見受けしておりません。ヘブル人の神を追い払ってくださいののですか？

これが最後の災いだ！この災いの後、王は、私達がエジプトを去ることを、喜ぶであろう。今夜、真夜中頃、滅ぼすお方がエジプトの全土を巡る。すべての家の長男が打たれて死ぬだろう。今夜、神は、罪を裁かれるのだ。

私たちの長男はどうなるんですか？死ぬんですか？

神様は、信じるすべての者に、救いの手をのべてくださる。それは、エジプト人も例外ではない。さあ行って、若い羊かヤギをほぶり、その血を自分の家の門柱と、かもいに、塗りなさい。

神は仰せられる。『今夜、わたしはエジプトの地を巡り、すべての初子を打つ。しかし、あなたがたの家の戸口の血を見て、その所を通り過すので、あなたがたの初子は守られる。あなたがたは家中にとどまっていなさい。そして、ほぶられた羊を料理し、食べるのです。』



行って、エジプトの民から、金、銀、宝石といった価値ある物を受け取りなさい。神が、彼らの心に触れてくださった。彼らは喜んで多くを差し出してくれるだろう。

明日の朝、出発することができるよう、荷物をまとめなさい。あなたがたはもう二度とこの地には戻ってこない。エジプトとの永久の別れだ。これは、あなたがたにとって新しい始まりとなる。



お父さん、僕たちには、子羊はその一匹しかいません。代わりに何か、赤い塗料を戸口の周りに塗るとかは、ダメですか？

息子よ、神様は、ほふった子羊の血で、戸口の周りにしるしをつけるようにおっしゃったんだ。言われた通りにしなければならぬ。従わない者たちに対する神様の裁きを、おまえも見たらろう？この子羊の血によって、おまえの命は救われるんだ。




じゃあ、この子羊は僕の身代わりなんだね？

そして、お父さんの身代わりでもあるのだよ。私も長男だからね。



神様がドアについた血の印を見つけれたら、そこは信者の家だから、家の中にいる人は誰も殺さないとおっしゃったよ。

ママ、どうしてお父さんはドアに血を塗っているの？




子羊をほふって戸口にしろしをつけないとダメじゃないか。

はっ? あんな迷信を信じているのか? ドアにつけた血なんぞで、どうやって死から免れるんだ? 俺の息子は、ちっとも恐れてないぞ。なあ、ジョイキム。

もちろんだよ。僕は意気地なしじゃないんだ。宗教なんて弱者のすることだよ。


良い神なら、ドアに血がついてなくなっただって殺すことなんてしないさ。それを知らなかった人はどうなるんだい?



お父さん、どうして今日はいつもと違うの?


それはね、神様は今夜、神様を信じない人たちの家の長男の命をとるために、滅ぼす者を送られるんだ。しかし、戸口の血のしるしをご覧になられたら、その家は通り越される。

今日は、私たちにとっての、新しい始まりなんだ。これからは毎年、この日を記念して、過ぎ越しの祭りを祝い、神様が私達を、ファラオのもとから救い出してくださったことを、心にとめるんだ。



お父さん、悲鳴が聞こえるわ! 破壊する者が来たんだわ!

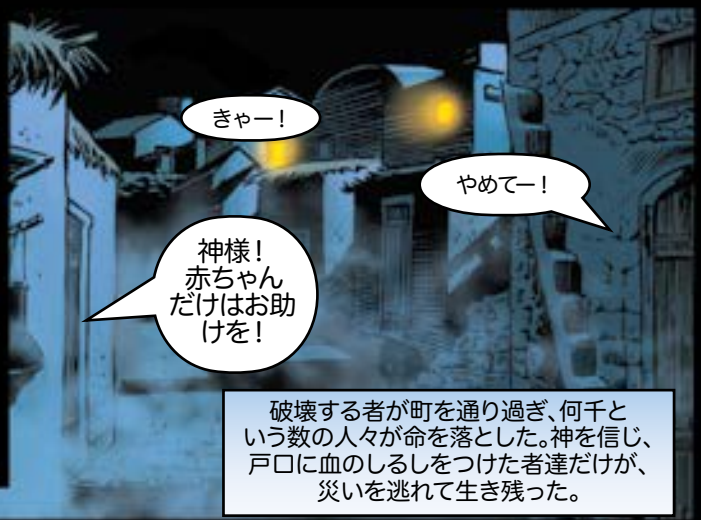
恐がらなくてもいいんだよ。私達は神様に従っている。戸口には血のしるしがついているし、こうしてほふられた子羊を食べているんだから。



息子が死んだ! 助けてくれ! モーセを呼んでくれ!



残念だが、遅すぎた  
ようだ。警告を受けても、  
あなたは信じることを拒ん  
だ。今夜、多くの人々が  
命を落とすだろう。



きゃー!

やめてー!

神様!  
赤ちゃん  
だけはお助  
けを!

破壊する者が町を通り過ぎ、何千と  
いう数の人々が命を落とした。神を信じ、  
戸口に血のしるしをつけた者達だけが、  
災いを逃れて生き残った。



あなた、  
息子がー!

すぐにモーセを  
連れてまいれ!



どうしたんだ?

彼も長男  
だったの  
です!

うわああああ!



王は再び、モーセを呼びつけた。



しかし、王は、モーセの顔をまともに見ることはしなかった。

私は罪を犯した。どうか、ヘブル人を連れてエジプトから立ち去ってくれ。あなたの神、主なる神は、私の手におえない。出て行く前に、私のためにも、祝福を祈ってくれ。



神が、かつてヘブル人の父祖に約束された通り、およそ400年がたった後、彼らはエジプトを去ることになった。エジプトの民は、彼らに持てる限りの多くの金、銀、宝石、食料を持たせた。それは、ヘブル人の子供達にとって、喜びの日となった。新時代の幕開けである。

女、子供を連れた、60万もの数の男達が、この日、約束の地へ向けてエジプトから立ち去った。

神は、昼間は、途上の彼らを導くため、雲の柱の中に、夜は、彼らを照らすため、火の柱の中にいて、彼らの前を進まれた。